

## 平成 29 年大船渡市教育委員会第 11 回定例会会議録

### 1. 日 時

平成 29 年 11 月 29 日（水） 午後 1 時 30 分から午後 3 時 25 分まで

### 2. 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

### 3. 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教育長職務代理者	千 葉 雅 夫
委 員	柏 崎 正 明
委 員	熊 谷 テイ子
委 員	谷 地 保

### 4. 説明等のため出席した職員

教 育 次 長	志 田 努
生涯学習課長	江 刺 雄 輝
学校教育課長	市 村 康 之

### 5. 議 事

議案第 1 号 平成 28 年度教育委員会の事務の執行状況の点検等に関する報告書の公表  
に関し議決を求めることについて

協議第 1 号 赤崎地区公民館新築工事に係る基本設計（案）について

### 6. 報告事項

（教育長）

① 岩手県市町村教育委員会協議会平成 29 年度教育長部会会議について

（教育次長）

① 地区別学校統合協議会開催の進捗状況について

② 学校統合に関するアンケート結果について

③ いわてスポーツコミッション設立総会の出席報告について

（生涯学習課長）

① 第 23 回大船渡市ファミリーウォーキングの開催結果について

② 第 31 回大船渡市スポーツ少年団交流大会の実施結果について

③ 2020 年東京オリンピック・パラリンピック「復興『ありがとう』ホストタウン」について

④ 平成 29 年度 大船渡市立博物館 教育普及事業「大船渡市文化財収蔵庫一日公開」、「おおふなと しぜん かわらばん 2017」、「縄文ドッキーづくり」の開催結果について

- ⑤ 「風の音コンサート in 最上」について
- ⑥ 平成 29 年度大船渡市立博物館企画展示事業「縄文人の骨を調べる-気仙地域からみつかった縄文時代人骨の最新研究成果-」の開催について  
(学校教育課長)
  - ① 授業交流会（中学校）の開催結果について

## 7. 会議の概要

(教育長)

- ・平成 29 年大船渡市教育委員会第 11 回定例会の開会を宣言する。
- ・平成 29 年第 10 回定例会の会議録について、質問、意見を求めた結果、委員の承認を得る。
- ・諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

(教育長)

- ・別添資料等により報告する。

(教育次長)

- ・別添資料等により報告する。

(生涯学習課長)

- ・別添資料等により報告する。

(学校教育課長)

- ・別添資料等により報告する。

(教育長)

- ・追加報告を求める。
- ・追加報告がないことを確認後、報告事項についての質問、意見を求める。

(委員)

- ・末崎地区の学校統合協議会で出た意見について伺いたい。

(教育次長)

- ・統合は避けられないが、教育環境とすれば大船渡中学校に統合するのではなく末崎中学校へ統合するべきだという意見が出た。末崎から学校がなくなれば地域がすたれてしまう。大船渡中学校を末崎中学校へもってくれば地域の衰退を押さえることができるのではないかという考えであるようだ。
- ・小規模校の教員の指導力が大規模校より劣っているのか。小規模校でも学力はそれなりに確保されているだろう。数値で示してほしいとの意見が出た。
- ・小規模校と大規模校のいじめの相関関係を教えてほしい。
- ・末崎中学校の廃校は末崎地域の将来に関することであり、早急に結論を出すのではなくみんなで時間をかけて協議していきたいとのことであった。

(委員)

- ・末崎地区学校統合協議会の中で教育関係者OBはいるのか。

(教育次長)

- ・いる。

(委員)

- ・東日本大震災により学区外通学が増えたようだ。統合協議会でさまざまな意見や結論

が出たとしても、異議があれば学区外通学をさせる親も出てくるのではないか。そうなる前に、学区をきちんと元にもどしたほうがいいのではないか。

(教育次長)

- ・日頃市地区では、いずれ日頃市地区の小・中学校が無くなるのであれば、日頃市保育園を出たら最初から猪川小学校へ入れたいと考える保護者もいるようだ。地域にしてみればそれをされてしまうと地域が衰退してしまうという意見もあった。

(教育長)

- ・大船渡市では学区制をとっている。学区外申請を提出すれば事実上ほぼ許可される。学区制をどうするかが根本の問題になってくるであろう。県内では中学校の学区制を廃止したところもある。陸前高田市は部活動を理由に学区外申請をするのは認められていない。大船渡市はそこまで規制はしていない。

(委員)

- ・現状の対応でいいのではないか。これで学区外を禁止してしまうと現在進めている統合について、煩雑な対応になりかねない。

(委員)

- ・統合アンケートの中で「安全確保のために赤崎の県道が出来てから統合したほうがよい」という意見があったが、清水地域から学校に至る道路のことか。

(教育次長)

- ・そのとおりである。

(委員)

- ・授業交流会について、綾里中学校の一年生の授業を拝見したが、柔道も女性教員が教えていることに驚いた。

(委員)

- ・綾里中学校には体育教諭は女性 1 人しかいないそうだ。

(委員)

- ・大船渡市外の教諭で授業交流会に参加した人数をわかる範囲で教えてほしい。

(学校教育課長)

- ・一桁である。気仙管内には案内を通知している。

(教育長)

- ・その他、質問、意見がないことを確認後、諸報告を終了する。

(教育長)

- ・開議を宣言する。
- ・日程第 1、会期の決定について、会期を 1 日とする。
- ・日程第 2、議案第 1 号について、説明を求める。

(教育次長)

- ・日程第 2、議案第 1 号 平成 28 年度教育委員会の事務の執行状況の点検等に関する報告書の公表に関し議決を求めることについて、説明する。

(教育長)

- ・議案第 1 号について、質問、意見を求める。

(委員)

- ・資料の 2 ページ目一番下、「学習機会の充実」についての「進捗度とその理由等」に「情

報提供方法に改善の余地あり」とあるが、どのような情報提供を行ってきたか。また、この反省を踏まえて、今後どのような情報提供を行うのか教えてほしい。

(生涯学習課長)

- ・平成 28 年度までは、紙で生涯学習情報を発行して全戸配付してきた。本年度は紙の配布を廃止し、HPに掲載している。それでも十分ではないと考えられるので、ツイッターを通じて発信することも行いたい。今までは、行事予定を羅列するだけであったが、その行事の楽しさ等が伝わっていなかったと考えられるため、そういった部分も考えながら発信していきたい。

(委員)

- ・我が家でも全戸配付された予定表は大変見やすく活用していた。生涯学習関係団体専用のパンフレットなどもあれば役にたつような気がする。
- ・カメラホールの使用状況について、盛地区公民館との協議により使用日等が限られ、一般の利用者数が減少したが、盛地区公民館の利用者数はどうか。

(生涯学習課長)

- ・カメラホールの一般利用者数が減少した分、盛地区公民館としての利用が増えたかといえばそうではないが、盛地区公民館の利便性を考え、当面は現状維持でいく。
- ・青少年ホームや婦人の家の使用規制が緩和されたことから、カメラホールから婦人の家等へ利用者が流れていると思われる。

(委員)

- ・9 ページ目、「地域に開かれた特色ある学校づくり」について、成果指標①について、思ったより低いので、もっと高くなるような工夫をしてほしい。

(委員)

- ・学校はがんばって地域に情報発信していると思う。

(教育長)

- ・学校によっては校報を全戸配付したり、震災後は文科省補助金により大学の協力を得てブログを発信している学校もある。継続してほしいという声もあるようだ。また、祖父母学級や参観日などで地域の方々と交流を図っている学校もある。運動会や文化祭など大きな行事以外で特色を出しながら地域の協力体制、学習する場を考えていければと思う。

(委員)

- ・市民意識調査はどのように行っているのか。

(教育次長)

- ・2 月から 3 月にかけて市民の中から無作為に選んで毎年調査を行っている。回収率は 50%弱程度となっている。

(委員)

- ・4 ページ目の進捗度とその理由等に「学びの成果を地域社会で共有する手だてが必要である。」とあるが、一つのいい例として、中央公民館の「星について学ぶ」講座で学んだ青年たちが独自でサークルを作り、市内だけでなく気仙管内あるいは全国から参加を募り活動している。

(委員)

- ・7 ページ「豊かで強い心の育成」の成果指標の③不登校児童の割合、④不登校生徒の

割合は削除してもよいのではないかという意見が出たようだが、実際に不登校はあるわけであり、削除してよいか。

(学校教育課長)

- ・「不登校は、0を目指すべき」という意見があった。出現率は「県平均と比べても低い」が、比較は難しいのではないかとのことであった。

(教育次長)

- ・出現率といっても一般住民にはわかりにくく、パーセンテージではなく人数で記載したほうが一般的に理解されやすいのではないかとことを含めての指摘であった。

(教育長)

- ・出現率と実際の数とは違うという反論はあるだろうが、実際に不登校があるわけだから表現は変えるにしても、何らかの形で指標として載せたほうが良いということであるが、削除してしまうものなのか。

(教育次長)

- ・指標の見直しということで、人数にすることも一つの案であるし、これに代わるものがあれば成果指標として何が一番ふさわしいかを考えて決めなければならない。評価結果を公表するわけで、指標等の見方を間違えたと外部からも指摘を受ける場合がある。今回の指摘を踏まえて課内で話し合わなければならない。

(委員)

- ・総じてこの内容でいいと思う。

(教育次長)

- ・今回、初めての試みであり、以後、毎年行っていく。

(教育長)

- ・質問、意見がないことを確認後、議案第1号について諮る。
- ・全員異議がなく、議案第1号を原案どおり可決する。

(教育長)

- ・日程第3、協議第1号について、説明を求める。

(生涯学習課長)

- ・日程第3、協議第1号 赤崎地区公民館新築工事に係る基本設計(案)について、説明する。

(教育長)

- ・協議第1号について、質問、意見を求める。

(委員)

- ・災害等になった場合、大きな鍋等を使用するため、シンクが小さいと洗うのに苦労する。また、火力も大きいほうがよいと思われる。

(生涯学習課長)

- ・避難所と炊き出しの機能は隣接する赤崎小学校に担っており、地区防災本部の機能を集約することで考えている。

(委員)

- ・震災後、赤崎地区公民館の皆さんは大変苦労されてきたので、高台にりっぱな公民館が建設されることになりよかった。

(教育長)

- ・質問、意見がないことを確認後、全員異議がなく、協議第1号を原案どおり承認する。

(教育長)

- ・その他、質問・意見、追加議案がないことを確認後、議案審議を終了する。
- ・平成29年大船渡市教育委員会第11回定例会の閉会を宣言する。

会議録作成者 教育長 小松伸也

会議録署名者 教育長

教育長職務代理者

委員

委員

委員